

# 狭山ヶ丘分館 図書館だより

## 2021秋号



ハッピー  
ハロウィン!

10月31日はハロウィンですね♪

背景の切り絵は『大人かわいい華やかカラー切り絵』を参考に職員が作りました☺

## 狭山ヶ丘分館イベントのお知らせ

### 秋の読書週間「読書ビンゴ」

■10月28日(木)から11月28日(日)まで  
色んな分類の本を借りて頂き、ビンゴになると、素敵なプレゼントがもらえます。問題用紙は「やさしい」と「むずかしい」の2種類があります。ぜひチャレンジしてみてくださいね!  
※毎回好評をいただいている職員手作りのガチャガチャを用意してお待ちしています。



### 図書館まつり「リサイクルブック市」

■11月6日(土)・7日(日)※終日 ■場所：狭山ヶ丘分館入口付近のエレベーターホール  
図書館で不要になった図書や雑誌などリサイクル資料をご用意します。ご自由にお持ち帰り下さい。

### 図書館まつり「本の福袋」

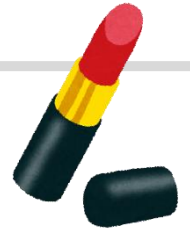
■11月6日(土)・7日(日)※終日 ■場所：狭山ヶ丘分館カウンター  
狭山ヶ丘分館の職員が考えたテーマにそった本を3冊選んで福袋を作ります。どんな本が入っているかは借りて袋を開けてからのお楽しみです。「一般書」「児童書」の2種類を数量限定でご用意します。



# 図書館スタッフの オススメ本

## 残像に口紅を

筒井康隆/著 中央公論新社 請求記号：913.6/ツ

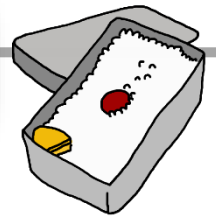


小説家である主人公、佐治勝夫は友人が提案してきた設定で実験的小説を書くこととなります。それは「言葉の音が消えると、共に音を使い表す対象物もこの世から消える」という設定です。たとえば、「か」という音が使えなくなると、「鏡」「ぴかぴか」、「あ」が使えなくなると、「愛」「あなた」も使えなくなります。言葉の音が消える合図はないので、対象物がなくなってから、はじめて、音が失われたことに気づきます。やがて、主人公の妻や娘の名前に入っている音も消え、記憶からも消え、残像だけになります。ページを進めるごとに、減っていく音。使える言葉が少なくなる中で、いかに物語を綴っていくか。消えた対象物が何だったのかは物語の中で書き記せないで、読者はそれを考えながら読まなくてはなりません。書く側も読む側も試される究極の実験的小説です。

1989年に発表された作品ですが、今年に入ってネット上で話題になり、重版が決定、書店の売り上げランキング入りするなど、注目の1冊です。

## 逃避めし

吉田戦車/著 イースト・プレス 請求記号：596.04/3



ウェブサイト『ほぼ日刊イトイ新聞』に連載していた読みものを単行本化した料理エッセイです。逃避めしとは何か？それは漫画家である著者が仕事場の台所で、シメキリ直前の忙しい時など「好きな時間にテキトーな料理を作って腹を満たす」ために作る「自分一人だけのための、人に「おいしい」といわれることを目的としない自己満足料理」とのこと。そんな「一人欲」を発散できる料理79品が料理の写真やイラストと共に紹介されています。手作り駅弁、愛読書の料理再現などゆるい感じの創作料理のためか、詳しいレシピは載っていません。自分の好物や思い出の料理も多く、「しっかりおいしい」「かなりふつうにうまい」など連発していて、著者が料理を心から楽しんでいる様子が感じられます。また個人的に印象に残ったのは「『ひとまねこざる』のうどん」。さっそく狭山ヶ丘分館にある本を確認したところ、確かに1980年版（縦書き）は「うどん」、1998年改版（横書き）は「すばげっといー」となっていました。興味のある方はぜひ読んでみて下さいね。

☆☆☆ 所沢図書館狭山ヶ丘分館 工事に伴う臨時休館のお知らせ ☆☆☆

狭山ヶ丘コミュニティセンターの冷温水発生機交換工事のため、  
下記の通り臨時休館を予定しております。

**2021年11月13日（土）・14日（日）**

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

